



0 7 1 9 0 0 0 3 1

*2017年7月改訂（第2版）（新記載要領に基づく改訂）
2006年4月作成（第1版）

コード番号 A2N3328, A2N3339, A2N3343, A2N3370, A2N3371,
A2N3372, A2N3373, A2N3374, A2N3375, A2N3376, A2N3381

Baxter

承認番号 20400BZY00131000

機械器具 74. 医薬品注入器

管理医療機器 自然落下式・ポンプ接続兼用輸液セット 70371000
（輸血・カテーテル用延長チューブ）

インターリンクI.V.アクセスシステム

（カテーテル延長チューブ）

再使用禁止

【警告】

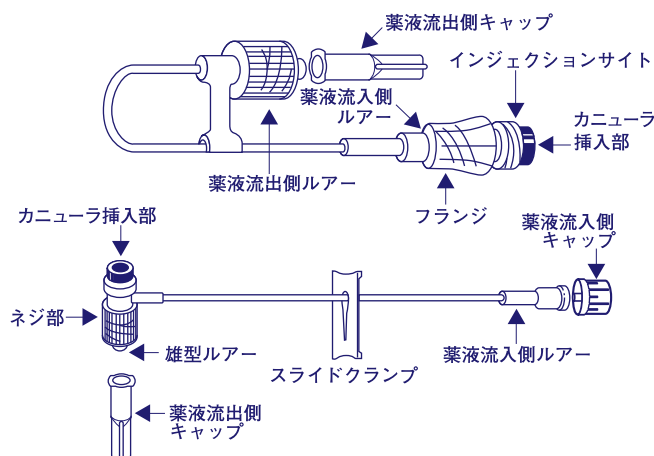
1. 輸送中、ルアー接続部分の緩みが発生するおそれがあるため、使用前には、必ず接続部分をしっかりと締めること。[しっかりと締まっていない場合、血液や輸液が漏れることがある。]
2. チューブを穿刺しないこと。[空気塞栓を引き起こすおそれがある。]
3. 中心静脈カテーテル、動脈カテーテルやその他の重要な箇所（偶発的な接続外れを起こした場合、重篤な症状もしくは死亡をまねく箇所）に使用されるラインと接続する場合は、ルアースリップアダプターを使用しないこと。[偶発的な接続外れが起こった場合、失血、空気塞栓等の合併症あるいは重要な治療の中断により、重篤な症状さらには死亡にいたるおそれがある。]

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止

*【形状・構造及び原理等】

- ・本品は滅菌済みで、発熱性物質を含有しない。
- ・本品は可塑性：DEHP：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）を含まないポリ塩化ビニル（可塑性：TOTM、トリメリット酸トリ-2-エチルヘキシル）を使用している。
- ・本品は天然ゴムを使用していない。



コード番号	タイプ名	プライミング量	全長
A2N3328	1アダプターライン Tコネクタータイプ	0.4mL	15.3cm
A2N3339	1アダプターライン Tコネクタータイプ (ネジ部移動式)	0.61mL	15.3cm
A2N3343	1アダプターライン 1Yサイト付き Tコネクター タイプ	1.0mL	17.8cm
A2N3370	1アダプターラインタイプ (接続部ロックなし)	0.5mL	15.2cm
A2N3371	2アダプターラインタイプ 1アダプターライン	1.0mL	10.2cm
A2N3372	Jループタイプ (接続部ロックなし)	0.5mL	10.2cm
A2N3373	1アダプターライン Jループタイプ	0.5mL	10.2cm
A2N3374	1アダプターライン	0.5mL	15.2cm
A2N3375	1アダプターライン（接続部 ロックあり、太径チューブ）	0.9mL	12.7cm
A2N3376	2アダプターラインタイプ 1アダプターラインタイプ	1.6mL	12.7cm
A2N3381	（接続部ロックなし、 太径チューブ）	1.1mL	15.2cm

（プライミング量と全長はおよその値である。）

【使用目的又は効果】

動静脈路への薬液注入及び血液採取

*【使用方法等】

操作は無菌の方法により行う。

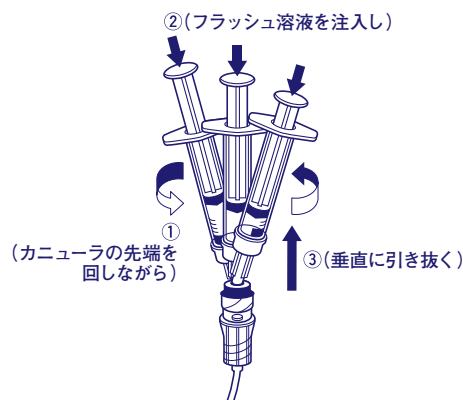
1. 薬液流入側ルアーと薬液流入側キャップ又は、インジェクションサイトが外れていないことを確認する。
2. 薬液注入時は、インジェクションサイトを固定させるために、フランジ部分を持って操作すること。

【注意】 カニユーラ挿入部から薬液を注入する場合には、インターリンク・カニユーラ（日本ベクトン・ディッキンソン株式会社）を使用すること。

注意 穿刺前に、カニューラ挿入部のゴム部を、消毒綿等で、消毒し、インターリンク・カニューラを適切な器具に接続して、カニューラ挿入部の中心部分に挿入する。消毒方法は、カニューラ挿入部のゴム部を一方向に消毒する。

注意 薬液、輸液、血液製剤投与後、また採血後のフラッシュは、フラッシュ効率を上げるために、下記の手順に従って確実に行うこと（図参照）。[確実なフラッシュが行われないと、血液の滞留による感染助長のリスク、薬液の化学反応の影響による薬効への影響、カテーテル閉塞、フィルターの目詰まりのおそれがある。]

①カニューラの先端を回しながら、②フラッシュ溶液を注入し、③注入を維持したままカニューラを垂直に引き抜く。



注意 金属針を用いる必要がある場合は、ゲージの細い針を用い、カニューラ挿入部のゴム部のスリット部外側に挿入する。

注意 インターリンク・カニューラがインジェクションサイトに接続されている場合は、カニューラと接続している輸液セットやシリンジ、その他の器具等を外さないこと。

3. 必要に応じて、ロック機能を用いて、他の輸液セットと接続する。

4. プライミングの準備をし、本品内の空気を除去する。

注意 本品内部には、絶対に空気が入らないようにすること。

5. 本品についているスライドクランプは、必要に応じて開閉する。

注意 本品のスライドクランプを用いて流量を調節しないこと。

6. 本品のキャップ等は必要に応じて取り外す。

7. 雄型ルアースリップアダプターを、末梢静脈用留置針に取り付ける。その際、接続不良を避けるために、雄型ルアースリップアダプターをしっかりと押しながらねじってまわし入れ、接続部分をテープ、もしくはその他適切な方法でしっかりと固定する。

雄型ルアーロックアダプターの場合は、留置針、またはインターリンク・カニューラにつなぎ、接続不良事故を防ぐために、押しながら時計回しにまわし入れ、しっかりと締めて固定する。

Tコネクターの場合は、ネジ部を引き上げて、Tコネクターの雄型ルアーを出す。Tコネクターインジェクションサイトの延

長チューブとの接続部分が右側かつ上方を向き、指の皮膚表面と垂直になるように、Tコネクターを持つ。Tコネクターを、末梢静脈用留置針のハブと並列にして持つ。

8. Tコネクターを、末梢静脈用留置針のハブに取り付ける。その際、しっかりと押しながらねじってまわし入れること。指の皮膚表面と平行になるまで、まわし入れる。

注意 施設内手順に従って、末梢静脈用留置針のハブとTコネクターにテープを貼って、接続を固定する。

9. 薬液の流量を調節する。

10. ループ部分は取り外すことができる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

1. 本品のチューブ、または接続部分を引っ張る等、過度の負荷をかけないこと。[チューブ接続部分から漏れを生じるおそれや、チューブ又は接続部分が外れるおそれがある。]
2. 薬液の逆流を防ぐために、複数の薬液を投与する場合には、必ずチューブのスライドクランプで調節すること。
3. 薬剤の配合変化を防ぐために、薬液投与が終了したら、必ず、インジェクションサイト、Tコネクター又はYサイトをフラッシュすること。
4. 本品の交換に際しては、感染防止に留意すること¹⁾。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で室温にて保管する。

*2. 有効期間等

使用期限は包装又は外箱に記載する（自己認証による）

*【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

- 1) CDC（米国疾病管理センター）の血管内留置カテーテル関連感染予防のためのガイドライン

2. 文献請求先

バクスター株式会社
連絡先：03（6204）3900

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者（輸入元）：

バクスター株式会社

連絡先電話番号：03（6204）3900

製造業者：

バクスターヘルスケア社（アメリカ合衆国）

Baxter Healthcare Corporation

Baxter 及びインターリンクはバクスターインターナショナルリンクの登録商標です

製造販売元（輸入元）
バクスター株式会社

07-19-00-0031